

企業内起業という特殊な形態で、自分のやりたいことに突き進む、もしくはある種のスキルアップをはかるケースはまれだと思う。サラリーマン誰もスキルアップを図りたい、もしくは取組んでいる人たちも多いと思う。しかしながら一人の自己啓発だけでは難しい「他人とのコミュニケーションによる情報交換や新たな知・アイデアの創出」、これに取り組む「関西交流大学」(NPO組織)の人たちを次に紹介したい。

TNF:この活動を始められたきっかけは?また、どういった喜びがありますか?

A :「今、大阪が“元気がない”という感じを受け、何かできることはないかと考えた訳です・・・」

TNF:トヨタって、外から見るとどのような印象ですか?

A :「印象と言えば、アサヒに抜かれるまでのキンビールですね・・・」

(ホームページ本文より)

【取材先 概要】

■関西交流大学

「逸材になろう」をキャッチフレーズに99年に大阪在住の若手社会人を中心に発足。

現在会員数:数百名(メールマガジン:約1000名)

活動内容:公開講座(1回/月)、分科会形式の会合、イベント、メールマガジン製作等



金澤氏

加地氏

働くということ

「サラリーマンとしてどのように生きていくのか、もしくは卒業(起業)するのか」といった問題に対しては、「何のために働くのか」ということをまず考える必要がある。自分の夢のため?お金のため?いろんな目的があると思う。働くということ、もしくは「会社に存在すること」のひとつの視点として、河合隼雄氏の指摘を引用できる・・・

(ホームページ本文より)



© 本宮ひろし/集英社

(文責:倉本/山田)